

目標設定シート (2009年度)

部局と評価項目・要素

対象部局	統括部局：キャリアセンター	担当部局：キャリアセンター
大項目	8 学生支援	
中項目		
小項目	8.0.4 学生の進路支援は適切に行われているか。	
要素	進路選択に関わる指導・ガイダンスの実施	
	キャリア支援に関する組織体制の整備	
	キャリア教育の適切性	

○2009年度からの目標

1. 就職率は景気動向に関わらず85%以上とする
2. 1～2年生向け体験型実習プログラムの参加者数を年間400名以上とする
3. 年間の企業訪問数を延べ500社以上とする
- 3-2. 大学として把握可能なインターンシップ派遣学生数を年間延べ300名以上とする
4. 学生が常駐する4キャンパスにおけるキャリア支援サービスの均質化を図る

○指標

1. 就職率・・・分母は「就職希望者」ではなく、「卒業者」である。具体的には（就職決定者＋自営）÷（卒業者－進学決定者）
2. 体験型実習プログラム・・・2008、2009年度の例で示すと、「マスメディアで働く」「ネクストリーダーズ・プロジェクト」「ウィメンズ・エグゼクティブ・リーダー養成塾」「KGワークラボ」「ベンチャー・インターンシップ」「市長インターンシップ」「グローバルリーダー・インターンシップ」「ワンディ・インターンシップ」
3. 年間の企業・団体訪問件数（延べ数）・・・キャリアセンター職員による訪問
4. 各キャンパスへの課長または主任の配置・・・指示命令系統の一本化によるサービス水準の均質化